2017.6.28
再巻 178 号

あんさんぶる

●6・7 月例会　No.613

赤 坂 達 三

クラリネット
リサイタル

ピアノ：斎藤　雅広

7 月 11 日（火）

午後 7 時開演　あわぎんホール（郷土文化会館）

≪プログラム≫

（一　部）
ラ ボ ー：ソロ ドゥ コンクール
プーランク：クラリネットソナタ
ドビュッシー：「月の光」
ドビュッシー：第一狂詩曲

（二　部）
ビギン・ザ・ビギン，二人でお茶を
夜のメドレー
～ムーンライトセレナーデ～夜もすがら～ムーンリバー～
ショパン：ノクターン第 20 番 遺作 嬰ハ短調
ファリャ：火祭りの踊り
煙が目に染みる,ムーランルージュ
ピアソラ：リベルタンゴ

市民コンサート徳島　☎（088）652-4874　FAX652-3251
http://concert-tokusima.com または市民コンサート徳島で検索
770-0831　徳島市寺島本町西 2 丁目 16 竹内ビル 3F（郷土文化会館向い）

≪ 曲 目 解 説 ≫

ラボー／ソロ ドゥ コンクール

マスネやジェダルジェに作曲を師事。中でもマスネに強く影響を受けたが、自らの音楽の方向性を修正するためにウィーン古典派の音楽なども学ぶ。この曲はコンクール用独奏曲で、パリ音楽院のコンクールのために作曲。魅力的な旋律にあふれた作品で、陰りのある前半に対して、後半は鮮やかな音の世界を彩りながら華やかに終わる。

プーランク／クラリネット・ソナタ

プーランクの三つある木管楽器のためのソナタの一つです。'55 年に死去した友人 A.オネゲルの墓前に捧げられました。プーランクの死から三か月後の'63 年 4 月 10 日に、カーネギーホールに於いて、L.バーンスタインの伴奏とベニー.グッドマンの独奏によって初演されました。20 世紀に書かれたクラリネットのための名作の一つとされ、多くの演奏家が取り上げ、また、コンクールの課題曲としても採用されています。

第１楽章　Allegro tristamente
三部形式。「悲しげなアレグロ」という珍しい呼称が与えられています。

第２楽章　Romanza　３分の４拍子　ト短調。
三部形式。「ラメント」という題で最初にかかれていた楽章。
'５９年の合唱曲「グローリア」の第５曲からとられた主題を、クラリネットが「きわめて柔らかく憂鬱に」と指示されて切々と奏でます。

第３楽章　Allegro confvoco　４分の４拍子　ハ長調。
ロンド形式と考えられています。
前楽章までとは打って変わって、荒々しいまでに快活な楽想と憂愁とが同居するフィナーレ。

ドビュッシー／月の光（ピアノ独奏）

この曲は、１８９０年に作曲が着手され、１９０５年に完成した「ベルガマスク組曲」の中の第３曲目です。「ベルガマスク」とは北イタリアのベルガモ地方に伝わる舞曲「ベルガマスカ」に由来するといわれています。「月の光」は、ドビュッシーのピアノ音楽中で最も有名な曲で、数多くの楽器用にアレンジされ親しまれています。この「月の光」という名前は、ヴェルレーヌの詩集「雅びた宴」で、“ベルガマスク”という言葉が出てくる詩の題名からとられています。

ドビュッシー／第一狂詩曲

ドビュッシーは母校、パリ音楽院の管楽器部門の審査員を務めていた関係で、クラリネットのための課題曲を２曲作曲しました。そのうちの高度な技術を必要とするのが、この第１狂詩曲です。曲は１楽章形式で「夢見るように穏やかに」という導入部に始まり、クラリネットの特色をうまく生かした情感豊かな音楽が、繰り広げられていきます。

ビギン・ザ・ビギン，二人でお茶を，
夜のメドレー（ムーンライトセレナーデ～夜もすがら～ムーンリバー）

ビギン・ザ・ビギン：　この曲は、コール・ポーターが作曲したジャズのスタンダードナンバーです。1935 年 10 月

にニューヨークのインペリアル・シアター上演のミュージカル『ジュビリー』で発表されました。題名の意味は「ビギンを始めよう」であり、ビギンはフランス領マルティンクのダンス音楽です。

二人でお茶を：　1925 年に、作曲家ヴィンセント・ユーマンスが、アーヴィング・シーザーの台本に曲づけしたミュージカル『ノー・ノー・ナネット』で使用されたヒット曲。後に 1950 年公開のミュージカル映画『二人でお茶を』でドリス・ディが歌い大変有名になりました。

夜のメドレー：　「ムーンライト・セレナーデ」は、ジャズのスタンダードナンバーの一つ。1939 年にトロンボーン奏者のグレン・ミラーにより作曲されました。スウィング・ジャズの代表作の一つであり、グレン・ミラー楽団のバンドテーマとなっています。

「夜もすがら」は、1956 年公開のミュージカル映画「夜は夜もすがら」の中の有名な曲。作詞・作曲はコール・ポーター。

「ムーンリバー」は、オードリー・ヘプバーン主演の映画「ティファニーで朝食を」（1961 年）のテーマ音楽として有名です。作曲はヘンリー・マンシーニで大人の愛を歌った大変美しい曲です。

ショパン／ノクターン第 20 番 遺作 嬰ハ短調（ピアノ独奏）

この曲は、幼い頃から深い愛情で結ばれていた姉ルドヴィカが、ショパンの「ピアノ協奏曲第２番を弾く前に指の練習として弾く」目的のために書かれたといわれています。自作のピアノ協奏曲第２番終楽章の主題旋律を嬰ハ短調に移調し、４拍子化したものです。

ファリャ／火祭りの踊り（ピアノ独奏）

スペインの作曲家マヌエル・デ・ファリャが、マルティネス・シエーラの台本により作曲したバレエ音楽「恋は魔術師」の中の１曲で特に有名な曲です。実にアンダルシア的であり、特筆すべき美しさと独創性に溢れた名曲です。

煙が目に染みる, ムーランルージュ

煙が目に染みる：　ミュージカル『ロバータ』のメイン曲として、ジェームズ・カーンが作曲したもので、作詞はオットー・ハルバック。1946 年にナット・キング・コールがレコード録音を行い大ヒットしました。ジャズのスタンダードナンバーの名曲。

ムーランルージュ：　この曲の作曲者ジョルジュ・オーリックは、映画音楽の大家として有名です。この曲は 1952 年製作のイギリス映画「赤い風車」の中で歌われる大変美しい名曲です。映画「赤い風車」は 19 世紀末のパリ・モンマルトルの名物カフェ≪ムーランルージュ≫を舞台に、画家のロートレックスの生涯を描いた名作です。

ピアソラ／リベルタンゴ

アルゼンチンの作曲家アストゥル・ピアソラの中でも一番有名な曲です。この曲が作曲されたのは、1974 年。前年にピアソラは病に倒れました。回復後、“一から出直すためとして新天地イタリアに移り、作曲したのが「リベルタンゴ」です。「リベルタ（自由）」と｛タンゴ｝を組み合わせたタイトルにも表れている通り、この曲には従来のタンゴに捉われない自由な発想が、遺憾なく盛り込まれています。ピアソラは、この曲にロックとジャズの要素を取り込み、タンゴに新風を吹き込みました。

♠♤♠　演奏家プロフィール　♠♤♠

赤坂 達三（あかさか・たつぞう）

国立音楽大学で学んだ後、パリ国立高等音楽院のクラリネット及び室内楽を１位で卒業。他、パリ・ポールデュカ音楽院、ヴェルサイユ国立音楽院、ともに１位で卒業。

トゥーロン国際音楽コンクールで第３位（クラリネットで国際コンクール連盟加入のコンクール上位受賞は、日本人初）。日本木管コンクール１位。日本クラリネットコンクール１位なし第２位。パリ国際コンクール１位。

20 数年にわたり、リサイタルでの活躍はもちろんのこと、国内外の主要オーケストラやゲヴァントハウスをはじめとする著名な弦楽カルテットとの共演は数え切れない。

定期演奏会にも多数招かれている。ソロアルバムは、ソニー、ビクター、マイスター等から多数リリースされている。

実力とスター性を併せ持つ真のアーティストとして、クラリネット・ソリストの第一人者と言われている。

2012 年４月よりエリザベト音楽大学、演奏学科の教授を務め、後進の指導にもあたっている。

斎藤 雅広（さいとう・まさひろ）

東京藝術大学出身。

18 歳で第 46 回日本音楽コンクールに優勝し、翌年 NHK 交響楽団との共演でデビュー。安宅賞・霧島国際音楽賞受賞。

NHK 名曲アルバム、ベストオブクラシック等、数多くの放送に出演。

教育 TV「トゥトゥアンサンブル」のメインキャラクター「キー ボーズ」役として登場。

巨匠 J.スークの他、P.シュミードル、ヤナーチェク弦楽四重奏団、ヴィアヴァ弦楽四重奏団、ザルツブルグハ重奏団等と共演。歌曲伴奏でも F.アライサ等、世界の名歌手たちから熱い信望と絶賛を得ている。

NHK ラジオのパーソナリティーや放送作家、プロデューサー・作曲家・編曲家の他、雑誌への執筆等の評論等幅広く活躍。各コンクールの審査の他、指揮者としても活動中。

バックステージ　　４・５月例会（青木尚佳　例会）の交流会から

ヴァイオリニストの青木尚佳さんは，スタイルがよくて，（足が長い）きさくな若者といった感じの方，ピアニストの中島由紀さんは，上品で美しい雰囲気の方でした。

例会交流会は，参加者は少なかったものの，くつろいだ雰囲気で，楽しいお話をたくさん聞くことができました。

当日のお話の中から，いくつか拾ってみます。

―美しい音色のヴァイオリンでしたが，どこの楽器ですか。

「プレッシェンダ」というイタリアの楽器です。

―ヴァイオリンのケースに「不思議の国のアリス」のうさぎのシールが貼ってあるのですが，お好きなのですか。

東急ハンズに行ったとき，可愛かったから買っただけです。（笑）

―ＣＤを出されると聞きましたが・・・。

１０月に東京の白寿ホールでライブ録音をします。曲目は，モーツァルトの「ロンド」に，クライスラーの３部作（「愛の喜び」「愛の悲しみ」「美しきロスマリン」），今回のプログラムのリヒャルト・シュトラウスの２曲です。

―リヒャルト・シュトラウスには，何か思い入れがあるのですか。

東京の大きなホールで初めて弾いたのが，リヒャルト・シュトラウスだったのです。

―ヴァイオリンとの出会いは，どのようなものでしたか。

２歳１０か月の時，鈴木メソッドのクラスに入りました。母がピアノを習っていたので，ピアノだと感情的になるかもしれないと思い，ヴァイオリンを習わせたようです。その頃，先生がこわかったという印象があります。

ヴァイオリンが生活の一部になっていたので，「楽しい」といった感じはありませんでした。最近，楽しいと思うようになりました。

―中島さんとの出会いは？

小学校５年の頃からのおつき合いです。母どうしが，仲がよかったのです。

―中島さん，青木さんはどんな方ですか。

とにかく意志の強い人です。ぶれない。こうと決めたら変わらない人です。中学生の頃からリサイタルをやっていましたから。

―今回の例会のプログラムは，どのようにして決めたのですか。

秋の録音に向けて，ＣＤの収録曲を主として考えました。でも，それでは演奏時間が足りませんでした。他に何がいいか考えていた時に，中島さんが「ドビュッシーがいいんじゃない」と言ってくれて，それに決めました。

お二人は例会の会員アンケートを「ドビュッシーが人気だね」とか，「ぽこあぽこ」サークルのアンケートを読んで，「子どもの感性は的を得ているね」などと楽しそうに読んでいました。例会の感想に驚いたり，喜んだり，会員のみなさまにその様子をお見せしたかったです。

例会の翌日に，お二人は鳴門の「渦の道」に行かれました。ところが，風が強くて，その日は通行禁止になってしまったそうで，観潮は叶いませんでした。次回，徳島に来られた時は，ぜひリベンジをしてくださいね。

（機関紙部　鎌田　憲二）

ヴァイオリンって，こんなに素敵なんだって改めて思いました。

～青木　尚佳　ヴァイオリン・リサイタル

2017 年６月６日（火）　郷土文化会館（あわぎんホール）

★若いのに力のある人で，ちょっとびっくりしました。ダイナミックな演奏で，ほんとによかった。又聞きたいです。（つうちゃん）

★のびやかで力強く，しかも歌うように思わず心からひきこまれてしまいました。すばらしかったです。若さにあふれていました。（里山　八木　正江）

★ドビュッシーのソナタは，２０年くらい前，聞いたことがある。死に直面したということで，死への叫びが聞こえるというが，私にはわからなかった。今回の演奏で少しはわかった気がする。しかし，演奏は，ヴァイオリニストもピアニストも実にうまいと思う。（シロメダカ 3377）

★初めてヴァイオリンの生演奏をききましたが，とても優雅でのびのびしていて感動的でした。（みあい）

★とてもどっしりした安定感のある演奏で気持ちの良いコンサートでした。

★楽しいコンサートでした。前回来ることができなかったので，久しぶりに来ました。仕事の疲れが癒されました。（ぷーさん）

★ヴァイオリンの音色にひきこまれました。何ともやわらかい，きれいな音が本当にすばらしく，ヴァイオリンって，　こんなに素敵なんだって改めて思いました。どの曲にも心ひかれ，すばらしい演奏に，時間があっという間に過ぎてしまいました。（奥村）

★美しい音色に感動しました。

★感情表現が素晴らしかった。バイオリンの楽器も，すごく良いものを使っていると思った。スケールが大きい。自由奔放な感じ。わたしもあんなに弾けたら，どんなにいいだろう。

★小さい楽器ながらも，弦を奏でることにより曲を演奏できるバイオリンに，幅広い音域を出すことのできるバイオリンに神秘性を感じました。バイオリンの特性を感じつつ，お若いにも関わらず，聞き入りました。伴奏のピアノの方も上手でした。（マコ）

★久し振りに，骨太のヴァイオリンを聴かせて頂きました。音色が素晴らしい！！これからが楽しみです。（トド子）

★2010 年の「リオデ徳島音楽祭」に出演した時は，まだ初々しい高校生だった彼女が，ひと回り大きくなって，徳島の舞台に帰って来た。プログラムも意欲的で現在の彼女の音楽性がよく分かる演奏だった。また，いつの日か，更なる飛躍を遂げて，徳島の舞台を訪れて欲しいものである。（桑原　佳宏）

★魅せる演奏で，まったくあきなかった。すらりとした長身で，ドレスもよくお似合いでした。

★ヴァイオリンの音色が素晴らしかった。ピアノ伴奏もよかった。（坂田　和）

★25 歳とは思えぬ落ち着き，堂々とした姿は，彼女の自信の表れなのでしょう。すぐれた技術，豊かな表現力。すばらしいバイオリニストだと思いました。生で聴けて幸せでした。（平岡　保人）

★ヴァイオリンの優しい響き，力強い響き，そしてピアノとのコラボで，日々の忙しさを忘れさせてくれて，本当にいやしの時間でした！（小林　一夫）

★渋いピンクのドレスのヴァイオリニストの青木尚佳さんと，渋い水色のドレスのピアノ演奏の中島由紀さんの舞台，エレガントでした。24 歳のシュトラウスの作った曲を，25 歳のヴァイオリニストが発する音楽，うるわしい時，うるわしい時を過ごしました。（サントワ・マミ）

★優雅で美しかったです。　（アン）

★バイオリンの弾き方がこんなに様々なものがあることを初めて知った。技術におどろき。すばらしい。

★最初，昼間のことで残念が残っていたのですが，「カルメンファンタジー」でコンサートを聴く態勢に入り，ソナタではすっかり魅了されていました。

★カルメンファンタジーは有名ですが，生はやはりすばらしかった。ドビュッシーは初めて聞いたが，すばらしく作りあげていました。シュトラウスのソナタはぐいぐいひきこまれました。

★久しぶりのヴァイオリンソロでした。のびやかで，軽やかな音色に幸福感に満たされた思いです。来てよかったと思いました。　（上村　恭子）

★とっても若々しいフレッシュな演奏に聴いていて，若がえりました。これから期待してます。又来て下さいね。

★気持ちがこもっていると思いました。はくりょくがありました。プツプツ切れる音がきれいでした。今回のえんそうを聞いて，ヴァイオリンにすごく興味をいだきました。　（ぽこあぽこ　中西　莉菜）

★ピチカートがとてもきれいでした。２音ずつ動くのも，すばらしかったです。すごくはく力がありました。

（ピアノ）

★音がとてもきれいで，二人の音がそろっていました。

（にきことこ）

★とてもひびいていてすごかったです。よく速い曲でも，指がまわるなと思いました。　（ぽこあぽこ　林　里咲）

★高い音のところが，小鳥のさえずりのようで美しかった。ピチカートがよくできていたし，速い曲もよくえんそうできていた。ヴァイオリストの方もピアノの方も，めりはりのある音だった。　（ぽこあぽこ　福岡　帆奈）

★ひびきのいいヴァイオリンの音にとても感動しました。いろいろな調や和声の変化が新鮮でおもしろかったです。　（ぽこあぽこ　濱田　共生）

★すごくきれいな音をしていた。高い音がきれいにでていた。体で動かしていて，よく歌っていた。

（ぽこあぽこ　川田　もえ）

★バイオリンの音がとてもきれいでした。

（ぽこあぽこ　原　梓紗）

★考えながら音を追った。

★とても楽しそうに演奏をしていました。「カルメンファンタジーop. 25」と「ヴァイオリン・ソナタ op. 18」がすばらしかったです。また演奏を聞きたいです。

★ピアノとバイオリンのハーモニーが，とてもきれいでした。とても印象的でした。重音がきれいでした。音がのびていて，とてもきれいでした。

（ぽこあぽこ　小林　浬）

★わたしはピアノはならっているけれど，ヴァイオリンはならっていないので，わたしもひいてみたいです。ピアノももっとじょうずになりたいです。がんばってください。ひょうげん力もとてもよかったです。（ゆいピー）

★わたしは，バイオリンが大すきで，きいてみたいなあと思っていました。わたしは，青木なおかさんのえんそうが大すきです。また，とくしまにきて下さい。もうすぐわたしは，ピアノのコンクールがあるので，がんばります。　（杏子さん）

<u>青木　尚佳例会の運営担当のみなさん</u>

行々子	**安田さん**
ぽこあぽこ	**吉岡さん・仁木さん**
カナリア	**佐藤さん**
ムーンリバーⅡ	**太田さん**
みゅーず	**門田さん**
ハ長調	**松本さん, 北島さん**
里山	**八木さん, 津嘉山さん**
シャロム	**住岡さん**

中尾さん, 中筋さん, 原さん, バルネケさん

おつかれさまでした。

<u>青木　尚佳さんのサイン色紙当選者</u>

ぽこあぽこ	吉岡さん
コスモス	伊予谷さん
里山	八木さん

☆☆☆　おめでとうございます　☆☆☆

６・７月例会の会場でお受け取りください。

事務局通信

◉　演奏者に花束を渡して下さった方の紹介

2017年２月/３月例会「原田 英代/ピアノ・リサイタル」に於いて、
今回も花束を沖野恵子さんの門下生の川田 もえさんが届けてくれました。
ありがとうございました。

「　わたしは、ピアニストの原田英世さんに花束を渡しました。
とてもきれいな人で、ピアノもすごく上手でした。
けんばんの上で、指がいっぱい動いていたのが心に残りました。
私もおけいこをがんばって、指がいっぱい動くようになりたいです。」
（川田 もえ）

◉　６・７月例会（赤坂 達三 /例会時）運営担当の皆さん

きかなそんそん　かんやけ　ガーネット　ダリア　みゅーず　みき
ムーンリバーⅡ　気まぐれ　プレアデス　ハ長調　マリンブルー

個人会員でお名前（性）の頭文字が「マ」行、「ヤ」行の方、よろしくお願いします。

※　毎例会の前に、運営サークル会という会を開いて、当日の運営担当をお願いしています。
例会運営に参加し、会員の皆さんと親交を深めることもよい音楽に巡り合う時間となると思います。

◉　６・７月例会（赤坂 達三 /例会時）もパンを販売予定です。

会員の皆様、パン工房「シャロム」のパンは試食をされましたか？
前回も、とても好評でした。好評だったことを参考に、今回も販売します！

※私の好きな食べ方をちょっとご紹介
ライ麦パンは薄く（7～8ミリ）に切ってその上に、レタス、トマト
チーズ、生ハム、等々お好きなものを載せて、お酒を召し上がる方は
“ワイン”と一緒に召し上がって見てください。おいしいです。
お酒の共に、またサンドイッチ風にといろいろ楽しんでくださいね。

次回も工夫されたものが、お目見えすると思いますので、皆さんご期待ください!!

◉　熱中症対策していますか?

うっとうしい梅雨明けも、もう間もなくというこの頃、皆さん熱中症対策はしていますか？
新聞、雑誌、マスコミ等の情報から、皆さんそれぞれに合った方法、対策をとられている事と思いますが、

1.暑さを避けるために！
室内では・・また、外出時には・・そして、体の蓄熱を避ける為に、どのような事に気を付ければ良いか?

2.室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分・経口補水液※などを補給する。
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

3.熱中症の症状
めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子がちがう

4.重症になると
返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い・・・・**少し注意するだけでも防げることがあります**

◉　真に音楽を楽しむために　②

良いコンサートホールとは、どんなホールなのか?前回に続いて考えてみたいと思います。

優れた音響は、生で演奏されるクラシック音楽では特に重要です。
響の質を左右するのは、ホール建物内部の材質です。良い木をふんだんに使ったホールが相対的に良いといわれています。

次に、空調設備も重要な要素です。
東京のサントリー・ホールなど、クラシック音楽専用ホールが出来るようになって、特別な配慮が為されるようになり、格段のグレードアップが計られました。前回の最後に、残念ながら現状では県外に出なくては、体験できません。といったのは、ホール建物のグレードだけではなく、まさに空調設備のグレードの差です。

最新の配慮された空調は、冷房、暖房が効いているのかいないのか判らないような、自然な空調です。これは、空調設備の中でも《ホール空調》という最高ランクのグレードで設計されているからです。放送局や録音スタジオに次ぐランクです。ホールの座席で、空調の風や吹き出し音を感じるなど、持っての他です。最新のトレンドは、客席の下や、足下から緩やかに吹き出す方式が主流です。大阪フェスティバルホールなどで、採用されています。

そこまでするのは何故か?ホールの音響に大切な、内部の壁面や天井を活かすためです。（続く）

企画部：小路常芳

◉　会員のみなさんが、楽しめる音楽会のために

無料の託児所をご用意しています。

例会会場には小学生未満の幼児は入場できません。

託児ご希望の方は 7/6（木）までに事務局までご連絡ください。→　☎088-652-4874

会場内のエチケット

1. ・携帯電話のスイッチは必ず切っておきましょう。音だけでなく、液晶画面の光も気になります。
2. ・演奏中の入場や座席の移動はできません。遅れた時は、係員の指示に従ってください。
3. ・会場内の撮影（携帯含む）・録音・喫煙は固く禁じられています。
4. ・演奏中の私語は絶対にやめましょう。

地下駐車場のサービス券も、ご利用ください!!

ホームページでのお問い合わせも多くなっています。

◉市民コンサート徳島では、ホームページを開設しております。ご存知でしたか?

http://concert-tokusima.com または市民コンサート徳島で検索

◉会費の納入は前納制です。

例会当日もロビーで前納受付をしておりますが、事務局に来られられない方は、下記の口座振り込みをご利用ください。

郵便振替口座　01690-0-41663　／　市民コンサート徳島

◉事務所受付時間

月・火・金曜日 12：30～17：00／木曜日 18：30～20：00／水・木（昼間）・土・日・祝日休み

市民コンサート徳島
これからの例会
2017～2018 年

例会は、すべて郷土文化会館・大ホール
（あわぎんホール）
6:30ｐｍ開場／7:00ｐｍ開演

≪8・９月例会　614 回≫青山カルテット・弦楽四重奏演奏会　9/21（木）

秋の例会・第一弾には、弦楽四重奏団の「青山カルテット」をお招きします。久々の室内楽演奏会です。青山カルテットは、元広島交響楽団・首席奏者の青山朋永さんを中心に、弦楽四重奏をやりたいというメンバーで編成したカルテットで、西日本を中心に演奏活動を展開しています。

秋の夜長を室内楽でゆったりとお過ごしください。

プログラムは、弦楽四重奏の名曲が予定されています。

リーダー：青山朋永

第一ヴァイオリン　：　青山朋永
第二ヴァイオリン　：　大西秀明
ビ　オ　ラ　：　奥村秀樹
チ　ェ　ロ　：　崎元蘭奈

≪予定プログラム≫

ドボルザーク　／　弦楽四重奏曲「アメリカ」
ハ イ ド ン　／　弦楽四重奏曲「皇帝」

他

≪今年の例会・ラインナップ≫

- 10,11 月例会　（615 回）　広瀬 悦子　ピアノ・リサイタル　11/30（木）
- 12,2018/1 月例会（616 回）　広田 智之　オーボエ・リサイタル　2/14（水）
- 2, 3 月例会　（617 回）　赤坂智子ビオラ/高橋礼恵ピアノ・デュオ　4/ 3（火）
- 4, 5 月例会　（618 回）　小林 愛実ピアノ・リサイタル　6/ 7（木）